



輝く瞳に会いに行こう 続編

NPO 法人タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクト理事長

チェンライ RC 原田 義之様

卓話者紹介

奥山 聡会長

1943年福島県生まれ。慶應義塾大学商学部卒。現近畿大阪銀行入行。その後、フジマサ機工(株)、ゼオテック(株)代表取締役。2006年退任。国際ロータリー第3360地区チェンライRC、2013-2014年度会長。タイ少数民族アカ族の識字率向上へ向けた就学支援を続けて当クラブも6年前から活動を支援させて頂いています。

タイ国立ダムロン高校で11年目のボランティアの日本語教師をしており、週末にはアカ族の子供寮「夢の家」「若竹寮」「メコン寮」「バンセンスック寮」の154名の子供たちの識字向上の支援をしています。今日は識字に限定してお話致します。

今から24年前、高砂RCの国際奉仕委員長の時に、初めてチェンライを訪問しました。それから、北タイのアカ族の子供たちへの支援が始まりました。北タイ小学校36校に図書支援を続け、15年目を迎えたおりに、北タイ少数民族を預かる学校に支援し、ここでアカ族青年、アリアさんと出会いました。

アリアさんは私と出会う3年前に、九州の農業団体研修に訪れた時、農家の方から「お前はタイ人ではない。アカ族だ。」と冷たい扱いをされました。そこで、彼はアカ族の子供たちの識字を向上させて、差別を受けないようにと考え、私財を投げうって支援を続けましたが、私財も底をつき、私と再会した時に助けを求めてきたのです。それは11年前の私が64歳の時です。その時に、私はアカ族の子供たちを助けようと決心し、昼は兵庫県国際協会の外国人向けの日本語講習で資格を取得、夜はタイ語の教室に通い、教壇に立つ準備をしました。そして、アカ族子供寮「夢の家」最前線の町、チェンライの日本語学科のあるダムロン高校の校長に直訴し、ボランティア教師になりました。

アカ族の生活手段は焼き畑農業で、移動しながら生活します。今でもミャンマー、ラオス、タイの国境際にアカ族等の少数民族は住んでいます。母国語のタイ語を学ぶためのタイ政府が用意している学校は、集落から20~30キロ離れているので、親元を離れて小学校のある村の寮で生活を送り、タイ語を学ぶしかありません。

識字率というのは、国の15歳以上の女性が、母国語で読み書きができる割合です。タイは92.8%と世界でも高い国です。パプアニューギニアは52.6%です。ここで起きている問題は識字率が50%台の国の女性の出生数は4.5人です。これはやがて、人口問題が食料問題に、それはエネルギー問題、結果的には環境問題になります。タイの識字率は92.8%ですが、アカ族の識字率は56%です。

チェンライからミャンマーやラオスとの国境の町、メイサイまでの60キロの間に、麻薬検問所が3か

所あります。今でも麻薬の取引が行われているのです。辛い労働に耐えかねた者や、所帯を持ったアカ族は、最後はしてはいけない麻薬の運び屋、売春の道に、そして、エイズのキャリアという現実が、北タイ、アカ族の識字率問題です。

ノーベル平和賞を受賞したマララさんは、2013年の国連演説で、「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペンでも世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。」と。

今、「アカ族子供就学支援基金」を全国のロータリアンに支えられ設立しました。奥山会長にも発起人になって頂いております。里親制度を設けて、現在28人の子供を支援しています。奥山会長には、アーカーとミーサーの里親になって頂いております。

ブチューを紹介致します。彼女が小学校5年の時に両親を亡くし、妹2人の生活を支えていました。彼女の両親はタイ語が話せず出生届も出していないため、3姉妹は無国籍です。父親は貧困脱出に、麻薬の運び屋になり、投獄中に亡くなり、母親は1年前にデング熱で亡くなりました。今は里親制度で元気に暮らしています。

フレンドはダムロン高校で3年間、日本語トップの成績でした。しかし、彼女には進学という二文字はありませんでした。私は日本に留学させたい。優秀な若者が、アカ族というだけで差別を背負ったままで良いのだろうか、と考えていましたが、いわき平RCの会長から、面倒をみたいという話を頂き、一年間、いわき平市の昌平高校に通うことができました。お金がない彼女の恩返しは、日本にいる時に日本語検定3級に合格することでした。ダムロン高校のタイ人教師は4人ですが3級をもっている先生はいません。彼女は今、ラチャパット大学2年生で、全学年漢字コンテストでトップになり、新たな目標は2級を取ることで、今年も漢字コンテストで全学年トップになることです。今も里親制度で支援しています。

さて、北タイの蚊は死に至るデング熱とマラリアを媒介します。子どもたちは死と背中合わせで学んでいましたが、いわき平RCは地区補助金を使ってリフォームしてくれました。識字支援、就学支援、衛生面での支援、食料支援もしております。もちろん、水の支援は命の次に大事です。

皆さん、ロータリーの奉仕の原点に掲げる、水支援、識字率向上の重要性はお分かりになりましたでしょうか。阻害要因は差別、格差です。それは、民族、言語、貧困、医療の格差です。私は、民族、言語、貧困の格差を少しでも縮めるために奉仕を続けます。また31日に北タイに戻りますが、アカ族の子供たちが麻薬、売春、エイズのキャリアの悪の予備軍にだけはさせたくないという思いで続けて参ります。

閉会点鐘

奥山 聡会長

創立/1993年10月13日(平成5年)
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2
グランドメゾン九段906号 <http://tokyo-orc.jp/>
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111
会長 奥山聡 幹事 山下憲男
会報委員長: 高山 副委員長: 小田
委員: 青木 岩佐 笠原 俣野 岡田